

第32回全国在日外国人教育研究集会・奈良大会にご参加を！

子どもたちの状況と私たちの課題を明らかにし、多文化共生教育を展開していこう！

第32回全国在日外国人教育研究集会（奈良大会）

在日外国人の子どもたちは今

外国人登録者数が約二二〇万人という時代となりました。地域に暮らす外国人も、学校に通う外国人の子どもたちもたくさんいます。「ちがいを豊かさ」として受けとめあい、互いを尊重しあう多文化共生社会を築いていくことが、より一層求められています。奈良においては、二〇一〇年、公立学校教員採用試験に合格した外国籍教員がようやく誕生しました。外国人の子どもたちももちろん、日本人の子どもたちにとっても、ともに生きる社会実現に大変意義深いことです。

ところが、外国籍教員の任用差別問題、朝鮮高級学校を高校授業料無償化から除外しようとした動き、尖閣諸島問題を機にした中華学校への攻撃など、この国の差別排外主義は依然根強く残り、子どもたちを苦しめています。「韓国併合」から一〇〇年を越えて未だ植民地主義が克服できていないことが、子どもたちの未来を奪っているのではないのでしょうか。昨年、群馬県で母親がフィリピン人の小学生が仲間はずれにされて自死しました。在日外国人の子どもたちは、この時代をどのように受けとめているのでしょうか。誇りと希望をもって将来を展望できているのでしょうか。子どもたちの命と誇りを守るため、多文化共生教育のとりくみを今こそ力強く展開しなければなりません。

豊かな出会いを子どもたちに、そして私たちも

全外教には三〇年余に及ぶ確かな歩みと地道な実践の積み重ねがあり、何よりも、各地の交流会等に集う在日外国人の子どもたちの元氣な姿があります。

昨年の三重大会・在日外国人生徒交流会にも、一〇〇人近い生徒が参加し、熱心に議論し交流を深めました。そこには、多様な課題を受けとめあい、ともに考え、解決に向けて訴えようとする力強く頼もしい姿があります。

私たちも実践を確かめあい、交流を深め合っつて、また新たなとりくみをスタートさせようではありませんか。子どもたちとともに、その未来を切り開いていきましょう。



なら国際こどもフォーラム

日程・内容	2011年
8月17日(水)	フィールドワーク 「奈良市内の渡来文化」
8月18日(木)	開会全体会 交流会 奈良教育大学 (奈良市高畑町)
8月19日(金)	分科会と閉会行事 奈良県立大学 (奈良市船橋町10)
8月17日(水)～18日(木)	全国在日外国人生徒交流会 生駒山麓ふれあいセンター (生駒市俵口町2088)
参加資料代	4,500円 (フィールドワーク・全国交流会 参加費は別途)
申し込み	「開催要項」の申込用紙にて (「フィールドワーク」以外は当日 申し込みも可)

主催：全国在日外国人教育研究協議会、第32回全国在日外国人教育研究集会・奈良大会現地実行委員会

後援：奈良県、奈良県教育委員会、奈良市、奈良市教育委員会、生駒市、生駒市教育委員会 他（申請予定）

連絡先：現地実行委員会（奈良市大安寺1-23-1 奈良県外国人教育研究会内 tel:0742-62-5555, fax:0742-62-5568）